

5月号への掲載の申込みは、3月14日(金)までに電子申請



### 【申込みの注意事項】

申込みの際は、掲載基準を確認のうえ、申請してください。※掲載基準を満たしていない場合、掲載はできません。

#### 掲載基準

- ・費用は、無料もしくは実費程度のもの(営利性がないもの)
- ・広く市民を対象とするもの
- ・**申込期限および開催日が、各月10日以降の事業(5月号に掲載する場合は、5月10日以降の事業)**



◀掲載基準など詳細は市ホームページ

## 文化

### 第2回 新興三島作家協会展 第73回 新春書道展

☎ 3月27日(木)～30日(日) ☎ 生涯学習センター3階(多目的ホール・市民ギャラリー)  
☎ 新興三島書作家協会の会員作品および小・中学生・一般の書き初め作品の展示、漢字・かななどの作品を額装や軸装にして展示 ☎ 新興三島書作家協会・久保田 ☎ 916・1278

## スポーツ・健康

### 弓道教室生募集

☎ 4月2日～7月9日 毎週水曜日 午後7時～9時 ☎ 市民体育館弓道場 ☎ 老若男女が楽しめるスポーツ、弓道の参加者を募集 ※経験者も参加可能 ☎ 9,000円 ☎ 18歳以上 ☎ 20人 ☎ 体操服、ジャージほか ☎ ☎ 3月19日(木)までに電子申請または往復はがきで長谷川靖高 ☎ 411・0033 文教町2・32・8 ☎ 090・1984・4227



## その他

### 第23回上岩崎公園桜まつり

☎ 3月29日(日) 午前10時～午後3時 ☎ 上岩崎公園 ☎ 地域の皆さんの交流の場、人と街の活気を創り出すイベント(ハンドメイド作品販売・野外コンサート・地元グルメ販売ほか) ☎ 少雨開催、荒天中止 ☎ コミュニティスペース・ジモット(受付 火曜～金曜 午後1時～4時) ☎ 986・2133

### '25 登山・ハイキング講座受講生募集

☎ 3月29日(日)～令和8年3月22日(日) ☎ 錦田公民館 ☎ 山での安定した歩き方の基本と応用、楽しみ方、地図や天気図の見方、危機管理などについて1年を通し、座学と実技で体験 ☎ 年額4,500円(別途交通費、保険料など) ☎ 22人 ☎ ☎ 根上 ☎ 090・3308・2640

### 長伏公園さくら祭り 初開催

☎ 3月30日(日) 午前10時～午後4時 ☎ 長伏公園プール跡地、芝生広場 ☎ 飲食やハンドメイドなど約40店舗が参加、芝生広場をお花見会場として利用可能 ☎ お花見をする人はレジャーシート ☎ 雨天中止、小雨決行 ☎ ☎ 本間 ☎ 090・4194・3620

### 健康！歌声クラブ10周年祭

☎ 3月30日(日) 午前10時15分～11時15分 ☎ 生涯学習センター講義室 ☎ ピアノとドラムの伴奏で唱歌や歌謡曲を歌い、健康の増進を図ります。☎ 先着100人(どなたでも入場可能) ☎ みどり音楽工房 ☎ 988・4140

### 4月2日世界自閉症啓発デー 発達障がい者がやってきた vol. 3

☎ ① 4月2日(日) 午後1時30分～3時30分  
☎ ② 4月5日(日) 午後2時～5時 ☎ ① カフェ&スペースほとり2階 ☎ ② みしま未来研究所 ☎ 発達障がい者が体験してきた事を絵を交えて話し、皆さんで発達障がいについて気づいた事をディスカッションします。☎ 500円 ☎ 発達障がいについて興味のある人 ☎ ① 先着8人 ☎ ② 先着15人 ☎ 開催日前日までに電子申請 ☎ erde～エルゲ～・高井 ☎ 090・7679・1977



### 男の料理教室会員募集

☎ 3月21日(金) 午前9時～正午(月2回：第1、第3金曜日開催) ☎ 生涯学習センター5階料理講習室 ☎ 4人1組で配布したレシピに基づき、講師の指導により調理後、昼食として試食 ☎ 月2回2,000円 ☎ 男性 ☎ 10人 ☎ 筆記用具、エプロン、タオル2枚 ☎ ☎ 前日までに電話で山田 ☎ 090・4261・3490

### 伊豆八十八札所巡礼参加者募集

☎ 3月12日(日) 午前6時 ☎ 三島駅北口集合(八十八番修善寺～三番最勝院) ☎ 伊豆半島八十八札所を月1回2年で歩き巡礼、お勤め後、住職の法話あり ☎ バス代金 ☎ 20人 ☎ 雨具、弁当、防止、タオル ☎ ☎ 3月10日(日)までに電話で長泉八十八巡礼会・山田 ☎ 090・7241・9157

三四呂人形の「黒猫」「ぶち猫」をモチーフにした一筆箋が新登場！  
郷土資料館（楽寿園内）☎ 971・8228



# 歴々の小箱

No.435

三島出身の芸術家  
野口三四郎

みなさんは、三島出身の人形作家、野口三四郎をご存じでしょうか。三島に長くお住まいの方は、かつて三島のお土産品として市内各地で販売されていた人形とともにその名を憶えているかもしれません。

三四郎は明治三十四年（一九〇一）、現在の三島市本町に生まれました。中学校（現在の高等学校）では美術部に入り、時には授業を抜け出して野原でスケッチをするなど、自由な学生生活を送ったそうです。その後、上京して写真技師として働いていたデパートから、昭和四年（一九二九）に京城（現在のソウル）で開催された朝鮮博覧会に派遣されました。この朝鮮滞りが三四郎にとって転機となったようです。博覧会終了後、すぐには帰国せず、朝鮮各地の風景や人々の生活をスケッチしました。帰国後は勤務先をやめ、

人形制作をはじめました。

自身の名前からとって「三四呂人形」と名付けた人形は、主に伝統的な張子の技法を使って制作され、和紙のやわらかな風合いと軽やかさが特徴です。風にゆれるブランコが表現された「春日庭」や、走り回って遊ぶ子どもたちの一瞬をとらえた作品「影ふみ」は、写真家としての三四郎のまなざしと精緻な張り技術が出会って生まれた作品といえるでしょう。



「影ふみ」（個人蔵）  
少女たちの躍動感が表現されている



「春日庭」  
ブランコが実際に動く

三四郎が人形制作を志した昭和初期は、子どもの玩具として見られていた人形を芸術として認めさせようという人形芸術運動がおこった時代でした。そうした時代の中で三四郎の三四呂人形は、作家仲間や関係者たちから次第にその芸術性が認められていきました。昭和十一年に開催された第一回総合人形芸術展では、源兵衛川で遊ぶ自身の甥たちを表現したといわれる作品「水辺興談」が最高賞である人形芸術賞に選ばれました。

しかし、私生活ではつらいことが続きました。妻と娘を病で亡くし、自身も病を得ます。人形賞受賞の年には療養のため実家に戻り、昭和十二年、三島で三十五歳の生涯を終えました。楽寿園内の郷土資料館で開催中の企画展「野口三四郎の芸術世界」では、三四呂人形のほか、三四郎の芸術的転機となったと考えられる朝鮮滞在時のスケッチなど絵画作品も数多く展示しています。三島の生んだ芸術家・野口三四郎の芸術をぜひご覧ください。

わたしの  
おじいちゃんおばあちゃん

当番 つちや はるな

私のおじいちゃんとおばあちゃんは、とても優しいです。  
おじいちゃんは、歴史やことわざを教えてください。  
おばあちゃんは料理が上手で、私の好きなメニューを作ってくれます。作ってくれる料理はとても美味しいです。  
また、トランプで遊んでくれます。真けん勝負をしてくれるので、とても楽しいです。  
私は、おじいちゃんとおばあちゃんのこと大好きです。  
これからも元気でいてね。



森下廣治(77才) 瑠美子(77才)  
土屋陽菜(向山小 6年)